

前期講座受講生募集

①沿線文学を読む～この路線に、このストーリー					日曜日【1限目】 10:30～12:00	
内容	関西の近代化には、大阪を拠点とする鉄道、ことに私鉄が大きな役割を果たしました。各沿線には独自の市民文化が醸成され、それを反映した文芸も生まれ育ちました。沿線ゆかりの作家たちを比較文学的に読みながら、文学と風土の関わりを考えます。					
1	5/6	阪急京都線～宮本輝『青が散る』	7	6/17	阪神電車～田辺聖子『田辺写真館が見た「昭和」』など	
2	5/13	阪急宝塚線～三島由紀夫『愛の渇き』	8	6/24	泉北高速～西加奈子『あおい』『さくら』など	
3	5/20	阪急神戸線～谷川流『涼宮ハルヒの憂鬱』	9	7/1	環状線～万城目学『プリンセス・トヨトミ』	
4	5/27	近鉄南大阪線～中島らも『お父さんのバックドロップ』など	10	7/8	東西線	
5	6/3	近鉄大阪線～東野圭吾『白夜行』	11	7/15	阪堺電車	
6	6/10	京阪電車～江戸川乱歩『D坂の殺人事件』	12	7/22	南海高野線	

②師に学ぶー出会い、そして“いま”ー					【四天王寺大学特別公開講座】 日曜日【2限目】 13:00～14:30	
内容	人生のなかでのさまざまな「師」との出会い、それはときには自分の生き方にとって決定的な意味を持つことがあります。本講座では、本学の教員がそれぞれの「師」と出会い、そして“いま”に至る経験を語ります。いろいろな世界を垣間見ることができるとも魅力です。					
1	5/6	教育とはなにかを問い続けて一大田堯先生を語る	7	6/17	「社会学」を通して考える「師」	
2	5/13	「公的意識」を保持せよー政治家、ジャーナリスト点描	8	6/24	えんびつ・えのぐ、まると縁(えん)	
3	5/20	遙かなる仏教の道	9	7/1	心理から福祉へ、そして福祉心理へ	
4	5/27	歌あるかぎり	10	7/8	小林秀雄「平家物語」との出会い	
5	6/3	「幸せを運ぶ器」になること	11	7/15	「なんで英語をやるの」再びー中津先生を偲ぶ	
6	6/10	つながり、そしてボランティアが伝えてくれたもの	12	7/22	温故知新一今に活かす中国古典学	

③万葉の歴史と文学					日曜日【3限目】 15:00～16:30	
内容	『万葉集』は天皇・貴族のみならず数多くの庶民の歌が含まれた、我が国最古の歌集です。律令国家体制が確立していく過程で、育(はぐく)まれていきました。豊かな文芸の世界を歴史の中に位置づけて、読み解いていきます。 ※講義2は月曜日の開講となります。					
1	5/6	万葉の飛鳥	7	6/17	遣新羅使	
2	5/14	壬申の乱	8	6/24	聖武天皇と藤原仲麻呂	
3	5/20	藤原京	9	7/1	防人歌	
4	5/27	草壁皇子と大津皇子	10	7/8	東歌	
5	6/3	平城京	11	7/15	大伴家持(一)	
6	6/10	遣唐使	12	7/22	大伴家持(二)	

④和の建築と暮らし					【大阪芸術大学提携講座】 水曜日【1限目】 10:30～12:00	
内容	和風建築の特色と伝統は、現代の住宅や暮らしにも様々に生かされています。そこでセミナーでは、日本の歴史的建築から現代建築まで広く取り上げて、名建築といわれる作品、そして建築家の仕事についても語る予定です。					
1	4/25	伝統の形成1 古代 一寺と社の建築	7	6/13	環境がつくった建築 一民家・集落より一	
2	5/9	伝統の形成2 中世 一書院造を中心に	8	6/20	現代に続く建築スタイル 一住まいを通して一	
3	5/16	伝統の形成3 近世 一茶室と民家の建築	9	6/27	和が生んだ生活スタイル 一習慣と建築一	
4	5/23	和と洋1 洋との比較から見える和の特徴	10	7/4	和の構成1 伝統的建築に見られる形と数	
5	5/30	和と洋2 洋を取り入れた和の建築	11	7/11	和の構成2 伝統的まちなみに見られる形と数	
6	6/6	和と洋3 和を取り入れた洋の建築	12	7/18	和の構成3 近現代における和の建築の構成	

⑤知って得する薬の最新情報					【大阪大谷大学提携講座】 水曜日【2限目】 13:00～14:30	
内容	市民(受講生)の方が、生活の中で薬(健康食品も含む)に関係することで、役に立つ最新の情報を納得できるわかりやすい説明で講義をします。日頃の疑問にも答えます。得た知識を他の人に教えることができるようにしっかり学んでいただきます。					
1	5/9	くすりとうまい関わり方の最新情報	4	5/30	認知症とその薬の最新情報	
2	5/16	薬の効き目の最新情報	5	6/6	セルフメディケーションの最新情報	
3	5/23	薬の副作用の最新情報	6	6/13	後発医薬品とサプリメントの最新情報	

⑥「-百舌鳥・古市古墳群をより深く知るための世界遺産講座Ⅱ-大王陵の考古学」						水曜日【3限目】 15:00~16:30	
内容	昨年度に続いて、世界遺産候補としての百舌鳥・古市古墳群の価値をより深く知るために、大王や大王陵をめぐる考古学的な課題を取り上げます。百舌鳥・古墳群の時代背景としての、技術やまつり、文化を通じて、そのすばらしさを探る、これまでにない連続講座です。						
1	4/25	大王陵への入り口	7	6/13	大王とまつり		
2	5/9	大王陵の原型	8	6/20	大王陵のまつり		
3	5/16	大王と鳥	9	6/27	王宮と王陵		
4	5/23	大王陵の土木技術	10	7/4	社会に生きる王陵		
5	5/30	仁徳天皇陵古墳は語る	11	7/11	峯ヶ塚古墳の大刀は語る		
6	6/6	大王陵の埴輪は語る	12	7/18	大王と馬具		

⑦歌舞伎とタカラヅカの百年						【学長企画講座】 土曜日【1限目】 10:30~12:00	
内容	多くの女優を世に送り出してきた宝塚歌劇はまもなく創立から百周年を迎えます。その間、歌舞伎界や映画界と密接な関わりを保ちつつ発展してきました。本講座は、歌舞伎とタカラヅカの一世紀を重ね合わせて検証し、「男だけの演劇」「女だけの演劇」がわが国で栄えてきた理由を考えます。						
1	4/28	宝塚に男性生徒がいた	7	6/16	戦争に翻弄された乙女たち		
2	5/12	歌舞伎出身俳優とタカラヅカ出身女優の歴代カップル	8	6/23	生誕百年を迎える武智鐵二と、関西花形歌舞伎		
3	5/19	全国にあった少女歌劇団	9	6/30	小林一三が作ったもう1つの劇団		
4	5/26	商業演劇のライバル、松竹と東宝（東京宝塚）	10	7/7	歌舞伎界の最長老、中村雀右衛門の波乱の生涯		
5	6/2	米軍が撮影した『戦後再開公演』	11	7/14	宝塚100周年に向けての展望		
6	6/9	内紛で崩壊した関西歌舞伎	12	7/21	市川猿之助一門の、激動の一世紀		

⑧ビジネスの現状と課題						【阪南大学提携講座】 土曜日【2限目】 13:00~14:30	
内容	現代のビジネスは国際化・情報化が進み、解決すべき問題はますます複雑化・高度化しています。また、製造業や流通業といった従来型のビジネスだけでなく、スポーツやブランドなど新しいビジネスの重要性も増加しています。現代ビジネスが抱える諸問題について、国際的な視点や新しいビジネス形態から学んでいきます。						
1	4/28	円高とTPPについて考える	7	6/16	ファッションビジネスに何を学ぶか		
2	5/12	無料ビジネス -なぜタダなのに儲かるのか-	8	6/23	デフレ不況下の流通ビジネス -小売業態の検討-		
3	5/19	トヨタはなぜ強いのか -労働調査者の視点から-	9	6/30	日本のプロスポーツビジネス -課題と展望-		
4	5/26	日本経済と円高	10	7/7	中国・ベトナムにおける中小モノづくり企業の海外ビジネス戦略		
5	6/2	携帯電話の変遷とそれに伴うブランド価値の変容について	11	7/14	環境と経営・会計		
6	6/9	決算書の読み方	12	7/21	トヨタ自動車と現代自動車 -生産システム論の観点から-		

⑨「上町学」入門 再発見・古都おおさか						【追手門学院大学提携講座】 土曜日【3限目】 15:00~16:30	
内容	その昔、おおさかは、海に抱かれた上町台地に立つ古代都市でした。上町台地には、自然・歴史・文化・芸能など、あらゆる宝の山が埋もれています。この講座では、上町台地に埋もれた宝の山を再発見し、大阪を古都のイメージで捉え直してみようと思います。						
1	4/28	古都「おおさか」上町台地	7	6/16	上町にみる医療・福祉の原点		
2	5/12	写真でウォーク上町台地	8	6/23	上町台地と教育		
3	5/19	古地図にみる上町台地	9	6/30	上町台地の交通と文化		
4	5/26	秀吉の伝記と大坂	10	7/7	上町と近世の芸能1		
5	6/2	お濠からみた大阪城の謎と魅力	11	7/14	上町と近世の芸能2		
6	6/9	上町台地の自然	12	7/21	上町台地の歴史(物語)と現代		

⑩日本仏像史の最前線						【大阪大学21世紀懐徳堂提携講座】 木曜日【イブニング】 19:20~20:50	
内容	近年、なぜかブームとなっている仏像の「歴史」がテーマです。日本の仏像がもっとも魅力的であった飛鳥から鎌倉までの各時代の代表的な仏像を各回の主題として、その歴史や思想、そして彫刻としての魅力を探っていきます。						
1	4/26	プロローグ~仏像のすがた -三十二相と着衣を中心に-	4	6/7	奈良時代の観音造像と山林での仏教活動 -奈良・聖林寺と京都・観音寺の2体の十一面観音像をめぐって-		
2	5/10	東大寺の鎌倉復興にみる伝統と革新 -南大門仁王像を中心に-	5	6/21	平安初期木彫像の成立と展開 -新薬師寺薬師如来像を中心に-		
3	5/24	飛鳥後期の仏教図像伝播に関する諸問題 -長谷寺銅板法華説相図を中心に-	6	7/5	平等院鳳凰堂阿弥陀如来にみる仏像の革新		

- 要 項 -

講座内容：日・水・土曜日に通常の講座を計9講座(全12回×8講座+全6回×1講座)を開講します。
木曜日の夜にイブニング講座として、1講座(全6回)を開講します。
※講座日、及び講座内容は講師の都合等により変更する場合があります。

開講場所：羽曳野市立生活文化情報センター(LICはびきの)
3階 視聴覚室(都合により変更する場合があります)

受講資格：どなたでもお申し込みできます(居住地・勤務地・年齢は問いません)。
※介助(点訳・託児など)が必要な方も受講できますので、その旨をお知らせください。
※託児については、2歳児～就学前のお子様に限らせていただきます。
それ以外は、ご相談ください。

受講費用：講座①～④・⑥～⑨(12回講義)/6,000円、講座⑤・⑩(6回講義)/3,000円
実習費や入館料が必要な場合は、別途実費負担です。

定員：60名/講座 ※定員を超えた場合は、講座ごとに抽選を行います。

目 程：[募集締切] 3月18日(日)必着。
[受講決定] 3月28日(水)までに受講決定の通知が届かない場合は、
至急市民大学までご連絡ください。
[受講手続] 4月1日(日)～8日(日)の間に受講料をそえて市民大学事務室まで
お越し下さい。※一旦納付された受講料は返金できません。

その他：定員に達していない講座は追加募集を行います。お問い合わせください

単位認定：1講座につき2単位(講座⑤・⑩については1単位)を取得できます。
(既定の出席数とレポートを提出した場合に限ります)
合計24単位を修得すると「はびきの市民大学学士」の学位記を授与します。
また、提携している大学での単位認定が可能な講座もあります。詳細は市民大学まで
お問い合わせください。

入学式：4月21日(土) 14時～16時[予定] LICはびきのホールM

申込方法：インターネット・往復はがきもしくは直接来館にてお申し込みください。
①インターネットに接続できるパソコンにてご応募ください。(2月1日から受付開始)
URL <http://www.city.habikino.lg.jp/lic/shimindaigaku/index.html>
②直接来館でお申し込みの場合は、官製はがきを必ずご持参ください。
③往復はがきで下記要領にて必要事項記載の上、ご応募ください。

<input type="checkbox"/> 往信用ハガキ表面 往信 〒583-0854 羽曳野市軽里1-1-1 LICはびきの 内 はびきの市民大学	返信用ハガキ裏面 印字 をお願いします しますので 無記入
--	---

<input type="checkbox"/> 返信用ハガキ表面 返信 印字 をお願いします しますので 無記入	往信用ハガキ裏面 ・氏名(フリガナ) ・性別 ・年齢 ・郵便番号 ・住所 ・電話(FAX)番号 ・希望講座(複数可) 介助が必要な方はその 旨をご記入ください
--	--

公開講座 受講生募集

楽器づくり&演奏ワークショップ **竹でつくろう、かなでよう!**

日 時 3月25日(日) 13:00～15:30
 講 師 手づくり楽器の森(代表:高玉要・副代表:大谷隆)
 受講料 500円/名 当日支払
 申込み 直接来館・もしくはお電話でお申し込みください。
 見学者は参加者1名につき1名までです。先着15名、定員になり次第締切といたします。
 小学2年生以下は必ず保護者同伴でお願いいたします。※詳細はお問合せください。
 受 付 2月1日(水)～3月10日(土) 9時30分～17時00分
 対 象 小学生～中学生
 持参物 作業しやすい服装。作品を入れる袋。



詳しいお問い合わせ

はびきの市民大学(業務受託者:株式会社みのりの里)
 〒583-0854 羽曳野市軽里1-1-1 LICはびきの内
 TEL 072-950-5503 FAX 072-950-5650
 E-mail shimindaigaku@minorinosato.com